



よなご 市議会だより

2025.10.1
No.82

2025年(令和7年)
10月1日発行



表紙写真:議会報告会・意見交換会



一般質問 P4~P24

議会報告会・意見交換会 P28

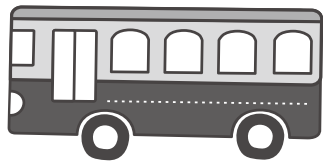
令和7年6月補正予算

注目の
事業

自動運転レベル4実装をめざした 公共交通モデル実証事業 3億7,500万円

バスの運転手不足など、公共交通としてのバスが抱える諸課題に対応しながら、「歩いて楽しいまちづくり」に資する公共交通の利便性を向上させるため、先進的な自動運転バスの導入を目指した実証運行(自動運転レベル2)を行う事業です。

自動運転レベル4とは



人が運転しなくても、自動で走るバス。「自動運転レベル4」のバスは、決められたルートで車が自動で運転し、目的地まで安全に運んでくれる新しい移動手段です。高齢者や子育て世代にもやさしい、これからの地域交通として注目されています。

委員会のメンバーが変わりました!

議会運営委員会(定数8人)

◎戸田隆次 ○今城雅子 岩崎康朗 奥岩浩基
国頭靖 塚田佳充 中田利幸 錦織陽子

予算決算委員会(定数26人)

◎渡辺穰爾 ○大下哲治 ほか全議員

総務政策委員会(定数9人)

◎塚田佳充 ○安達卓是 岩崎康朗 大下哲治 奥岩浩基 徳田博文 土光均 戸田隆次 森田悟史

民生教育委員会(定数8人)

◎松田真哉 ○門脇一男 伊藤ひろえ 岡田啓介 又野史朗 矢田貝香織 吉岡古都 渡辺穰爾

都市経済委員会(定数9人)

◎西野太一 ○津田幸一 稲田清 今城雅子 国頭靖 田村謙介 中田利幸 錦織陽子 森谷司

広報広聴委員会(定数8人)

◎奥岩浩基 ○又野史朗 田村謙介 塚田佳充 津田幸一 中田利幸 森田悟史 吉岡古都

◎委員長 ○副委員長 委員は五十音順

令和7年6月 定例会の概要

会 期 6月16日から7月8日までの23日間

市政一般に対する代表質問及び関連質問

6月18日、19日、20日、24日及び25日の5日間

市政一般に対する各個質問

6月26日

審議された議案等

議案16件、報告7件、諮問1件、請願1件及び陳情3件の合計28件

※審議結果については、25ページから27ページまでの一覧表のとおりです。

令和7年5月 臨時会の概要

会 期 5月16日

審議された議案等

議案4件 ※審議結果については、25ページから27ページの一覧表のとおりです。

あなたの 声 を市政に！

6月定例会では、各会派を代表して5人の議員が代表質問を、15人の議員が関連質問を、4人の議員が各個質問を行いました。



紙面の都合上、質問と答弁を要約しています。
詳細は市議会ホームページのインターネット
録画配信、または、会議録をご覧ください。

※会議録は、議会事務局、各公民館、市立図書館で
ご覧になれます。



「一般質問」とは、議員が市の一般事務について、市長及び
執行機関に対し質問を行うことです。

「一般質問」には以下の方法があります。

- 代表質問：3人以上の議員が所属する会派の代表が行う
- 関連質問：代表質問を行った議員と同じ会派の議員が関
連した質問を行う
- 各個質問：議員が個々の立場で質問を行う



矢田貝香織 議員
(公明党議員団)



子ども・若者の居場所について

■議員 湊山公園のリニューアルに伴い、現児童文化センターをどうするかとの検討にとどめず、本市の子ども・若者、子育て世代にとっての将来の社会教育施設の在り方として、一段高い議論をしていくことが大切だと考えるがいかがか。

■市長 児童文化センターは、40年以上の長きにわたり児童の健全育成に大いに貢献をしてきた施設である。今後の在り方については、これから先も児童の健全育成に資する施設としての役割を果たせることを大きな前提として、施設の大規模改修あるいは建て替えも含めた在り方を検討していきたい。

■議員 児童文化センターも含む湊山公園の魅力を高める議論と、それとは別に、未来を見据えて市全体の子ども・若者の居

場所に関係する施設構想を議論するときは来たのではないかと
思うがいかがか。

■市長 現代における価値観の多様化を背景として、主な居場所である家庭や学校に加え、子どもたちが安心して過ごすことのできる多様な居場所が求められている。こうした現状を踏まえ、子どもや若者のニーズを的確に捉えながら、居場所に関する施設の在り方について、様々な公共施設の活用観点から議論を進めていきたい。

中学校の部活動について

■議員 部活動は生徒にとって教育的意義の高い活動だが、地域展開が進むと、地域のクラブチームで活動する生徒や、理由は様々でも、現在ある部活動に所属しない生徒が増えることが考えられる。今後、学校教育の中で部活動をどのように位置づけていくのか伺う。

■教育長 令和6年4月に米子市立中学校部活動の在り方に関する方針を改定し、原則全員加入ではなくなったが、これまで学校が担ってきた学校部活動の教育的意義は、自らの興味関心

を深く追求することができ、学校外での諸活動でも達成できると考えている。よって、部活動に加入していない生徒については、そういった課外活動へ参加することを推奨している状況である。

■議員 放課後の過ごし方を選択する時代が来ている。教育長が言われるとおり、部活動に加入していない生徒も広い意味での居場所につながるような体制をつくるのが大切だと思う。

例えば、社会的活動部のような多様な受皿の拡充についても、部活動の地域展開の中で議論していく必要があるのではないか。

■教育長 多様な受皿の拡充は、部活動改革を進める目的の一つである。生徒や保護者を対象に実施した実態調査の結果等を踏まえながら、これまで学校部活動にはなかった種目や文化活動なども含め、子どもの選択肢を広げられるよう努めていきたい。さらに、指導者の確保の観点からも、地域の受皿となる関係団体等と協議しながら、よりよい在り方を目指していきたい。

■市長 部活動の地域展開については、私の3期目の公約にも掲げた事柄でもあり、部活動の

重要性を十分に認識した上で、教育委員会と連携して地域展開をしっかりと支援していくことが大切である。中学校3年間はあつという間であり、できるところからスピード感を持って取り組むこと。また、地域展開をきつかけとして地域の大人たちの力を借りて、今まで部活動にできなかった種目や文化活動、あるいは芸術活動などについても部活動と認め、それを例えば高校進学に際しての内申書に書いてもらえるようにするなど、そこまですべてが支障だと考えている。

このような取組を積極的に進めることが大切だと考えている。

■議員 それぞれの地域において潜在化しているニーズも違うと考える。居場所がない生徒が生じないように、中学校単位でも社会教育と地域学校協働活動の連携をしつつ協議していただきたい。

認知症施策とフレイル対策について

■議員 認知症施策は、目的と対象により様々な取組が実施されている。今後、コグニティブフレイルの予防、社会的フレイル、認知・精神的フレイルの強

化のために、認知症地域活動支援員の増員と言語聴覚士との連携強化が有効だと考えるがいかがか。

■福祉保健部長 聞こえについては、フレイル予防アプリで手軽にチェックできるようにするとともに、各公民館での健康相談やフレイル予防教室等で活用している。今後も様々な機会を通じ、聴力低下の早期発見と適切な医療機関の受診勧奨に努めていきたい。また、認知症地域支援推進員の取組や言語聴覚士の活躍が、聴力低下による社会的孤立の防止や認知症の予防について効果が期待できるものと認識している。認知症地域支援推進員の体制や言語聴覚士との連携について、その在り方を検討していきたい。

■議員 次期「高齢者福祉保健計画及び介護保険事業計画」では、現計画にある多角的なフレイル予防アプローチについて深めていただくよう要望する。

安心・安全な避難所の整備と開設について

■議員 大規模災害時の避難となり得る施設の管理者との事前協議はどのようになっているの

か。

■防災安全監 公民館については避難所運営マニュアルの配付を行っており、公民館が避難所になった場合の動きや、公民館職員が避難所運営要員として活動する点などの説明を行っている。学校については、市職員と教職員の連携は重要であるので、教職員に災害対応の理解を深めていただけるよう努めていきたい。

■議員 学校施設が避難所となる場合について、大規模災害時には一定期間、教職員がその業務を支援する状況が予想される。文部科学省が示した各学校の防災マニュアル作成の手引では、この場合について、教職員の第一義的役割としての児童生徒の安全確保、安否確認等の業務に支障を来すことのないよう、あらかじめ地域住民や自治体等と学校が支援できる内容について協議しておくことが重要としている。避難所となり得る各学校職員と住民とが連携した備えの必要性について、教育委員会の側からの見解を伺う。

■教育長 児童生徒の保護や応急的な教育活動に支障のない範囲で避難所の開設や運営支援に

関わることなど、教育委員会事務局や本市防災対策本部と連携、調整を図ることとしている。

JR駅周辺の環境整備について

■議員 後藤駅の大型店舗側の駐輪場整備を求める声を受け、境港から淀江まで、各JR駅の現状を見てきたが、駅周辺整備の必要性を痛感した。JR各駅の駐輪場の整備状況と利用方法そして駐輪場の維持管理の現状と整備の必要性について、どのように考えているのか。

■総合政策部長 本市内の全てのJR駅において、現段階で駐輪場は整備されている。JRが管理するもの、市が管理するものとの違いはあるが、それぞれの管理者が責任を持って管理している。

■議員 JRの利用促進に取り組む市の立場から、まず、本市が実態を再調査し、できることから対応していただきたい。

誰もが安心して集い使える公共施設の整備について

■議員 市役所本庁舎1階にあった設置型授乳室が撤去されたままである。授乳やおむつ替え

ができる場所を設けるなど、子育てバリアフリーの取組を早急に進めるべきだと考えるがいかがか。

■総務部長 広告事業者から広告付設置型授乳室について提案を受け、平成30年度から設置していたが、令和2年5月に事業撤退の申出があった。代替場所を検討したが、庁舎1階のレイアウト変更等の場所の確保は困難と判断し令和3年3月に撤去した。現在、本庁舎では、1階バリアフリートイレの中におむつ替えができる場所を、授乳室は地下をご案内している。また暫定的だが、7月中をめどに簡易設置型の授乳室を1階西側の玄関付近に設置するよう調整している。今後、利用状況を見ながら、乳幼児を連れて来られた方が安心して利用していただけるよう、引き続き整備を進めていく考えである。





徳田 博文 議員
(公明党議員団)



高齢者、障がいがある方への情報保障の推進について

■議員 視覚障がいのある方への情報保障について、納税通知書に音声コードをつける取組を進めるべきと考えるがいかがか。

■福祉保健部長 本市では、障がい者支援課主催のイベントの配付物や、視覚障がい1、2級の方へのフレイル度チェックの案内文書に音声コードを添付している。納税通知書等の文字の情報量が多い文書などには、文字情報の音声化に際して様々な課題があると考えており、他の自治体などの音声コードの活用事例等を参考にしながら、今後可能なものから対応していきたい。

■議員 聴覚に障がいがある方が窓口に来られたら、遠隔手話通訳を活用し、情報保障の充実を図るべきと考えるが所見を伺う。

■福祉保健部長 今年度から、鳥取県内で新たな遠隔手話通訳のサービスが開始され、本市の窓口においても利用が可能となった。今後、窓口サービスの充実に向けて取り組んでいきたい。

高齢者等の居住支援について

■議員 住宅セーフティネット法が2024年5月に改正され、各市町村が居住支援協議会を設置することが努力義務となった。そこで、今後どのように居住支援を進めていく予定なのか伺う。

■都市整備部長 地域の課題やニーズに対応できるよう、福祉部局や不動産団体、福祉団体、居住支援法人などと連携して、本年10月を目標に米子市居住支援協議会を設立し、居住支援に取り組んでいく予定である。

■議員 ぜひとも、今後さらに増えることが予想されている独り暮らしの高齢者の方のためにも、また、独り暮らしの障がい者や低所得者の方のためにも、本市の居住支援協議会の設置も含め、居住支援策の拡充をよろしく願いたい。



津田 幸一 議員
(公明党議員団)



児童生徒が学校に安心して通学できる環境整備等について

■議員 「登下校防犯プラン」にある防犯まちづくりの推進では、公共施設の整備に合わせ、安全性の確保等施設管理上の観点から、防犯カメラや防犯灯など社会資本整備総合交付金等による支援を実施するところだが、防犯カメラ、防犯灯の設置状況について伺う。

■教育委員会事務局長 防犯カメラについては、全ての小中学校に市が設置し管理しているものがあるが、通学路については、把握できていない。防犯灯については県と市の補助制度により、各自自治会が6000灯弱を設置し、管理をしている。

■議員 登下校時の子どもたちの安全の確保のためにも、通学路の防犯カメラ設置状況の把握や防犯上必要と考えられる箇所への防犯カメラ設置を強く要望する。

信 淀江傘のさらなる魅力を発信

■議員 今、日本の伝統工芸品の海外販路拡大に向けた取組が進んでおり、毎年4月にイタリア・ミラノで開催されるデザイン展覧会では日本の伝統工芸品に視線が集まっている。そこで、淀江傘が海外でのイベント出品や販売、実演などのオフアールが本市にあった際は、本市のアピールや淀江傘の認知度向上にもつながり、淀江傘の魅力を世界に発信できると考えるが、市長の見解を伺う。

■市長 淀江傘の製造技術は、市の無形文化財に指定されており、本市の伝統的な工芸品である。また、その美しいデザインや色彩から外国人観光客にも注目されている。淀江傘の海外出張については、淀江傘の魅力を世界にPRできる貴重な機会であると考えているため、内容や出展条件等伺った上で考えていきたい。

■議員 淀江傘にその機会が訪れたときには、前向きな検討をお願いしたい。また、県と共同での取組も検討することで、より実現に近くなると考える。

関連質問（公明党議員団）

■議員 避難所の環境整備について大幅な加速が求められている。公明党が提案し、国では空調整備の予算を確保するとともに、各種相談に応じる体制強化も図られた。そこで、国の担当部署と連携し、設備や断熱工法など最新の技術・事例を参考にした学校体育館のエアコンの設置について、御所見を伺う。

■市長 猛暑の避難所の環境改善に、避難所となる体育館のエアコン設置は必要である。国の交付金拡充は大変ありがたいが、断熱改修を含めると補助金限度額を大幅に超えることから、引き続き財源の確保が大きな課題である。今後、国と連携し、有利な財源の情報収集を図りながら、体育館のエアコン設置につなげたい。国には引き続き補助制度の拡充を要望したい。



いましろ まさこ 議員
今城 雅子
(公明党議員団)



駅前通りを含めた周辺道路の交通の現状と課題について

■議員 駅前周辺で実施する、にぎわい空間の創出と円滑な交通との両立の検討を進める実証実験については、「どんな歩いて楽しいまちを目指すのか分からない。段差等が解消されず、安心して歩ける状況にない。また、滞留を目指す施設もない」との市民の声がある。楽しく歩けるための仕掛けづくりについて、どのような検討をしていくのか伺う。

■総合政策部長 歩行の魅力ある空間や、くつろげる空間のハード整備、ほこみち制度導入を検討している。町なかで周遊できるような各種のイベントも定番化しつつある。また、まち歩きをしてみようという動機づけが必要だと考え、モデル的な周遊ルートも示しながら、にぎわい創出につなげていくように努力していきたい。

■議員 「なぜ駅前通りなのか。車線減少が前提で二丁ズを把握できるのか」など、まだまだ市民の理解は進んでいない。どんなまちづくりなのかを検討し、交通体系の再構築を要望したい。

代表質問（よなご・未来）

米子市長選挙に関連して



ど こう ひとし 議員
土光 均
(よなご・未来)



■議員 歩いて楽しいまちづくりに関して、不要だ、無駄な投資だと主張した候補者が5400票余り獲得している。このことを受け止めているか。

■市長 そのような思いを持つ市民がいるとは事実だが、逆にもう少し公共交通を充実してほしいとか、そのような声は特に郊外のほうからはたくさんいただいている。それは考え方の違いというよりは、十分にそうした市民の意見が吸い上げられていないのではと受け止めているので、私は私なりの多くの皆様から聞いた意見を集約しながら一つの政策にまとめていく過程をしっかりと説明していかねければならないと考える。

市庁舎等の借地問題に関して

■議員 市長は選挙戦で「庁舎問題は買取り一択で大丈夫だ。借地問題なんてすぐ解決させます。」と述べた。買取り一択ということは、それ以外のケースは想定しないということである。買取り交渉は相手がある問題なので事情により買取りができなかった場合は、責任を取るといふことが。

■市長 市の財政負担を最も軽くするために交渉が続けている。それが市長としての責任と考えている。したがって、仮に買取りができなかった場合に、それが我々執行部側に落ち度があったならば、何らかの責任問題になるかも分からないが、相手方のある話の中で、交渉不成立の責任を一方的に取る必要はないと考える。

淀江ゆめ温泉利用者のレジオネラ症発症について

■議員 淀江ゆめ温泉の利用者のレジオネラ症は昨年の12月から発生しているにもかかわらず市がこのことを知ったのは今年の5月13日である。それまで事業者から報告がなかったことに関して市の見解を伺う。

■市長 県との対応で清掃や消

毒、定期検査など、県条例への違反はなく、衛生管理上に問題がないと判断されたため、市への報告はしなかったと事業者から聞いている。事業者の対応に問題はなかったと考えている。

■議員 今後、利用者の入院等を含む健康被害などに対する補償について、どのような考え方でなされるべきか市の見解を伺う。

■市長 指定管理者からは、レジオネラ症を発症された方で淀江ゆめ温泉を利用された方に対しては、淀江ゆめ温泉との因果関係が特定されていなくても補償対応を進めるとともに、今後健康相談などについて対応していくとの報告を受けている。

島根原発問題について

■議員 伊達境港市長は、島根原発事故時の避難計画に関して、次のように考え方を述べている。「この広域住民避難計画を境港は毎年春に住民説明会等をやっていますけど、今年も当然繰り返し住民説明会を行います。避難計画の実効性を高めるには市民の皆さんがこの計画を知っていたらいい、もし万が一のと

きに落ち着いて行動ができなければ、この避難計画も絵に描いた餅になってしまう。」この発言、当たり前と考え方だと思いが私がこの発言を聞いたとき、残念ながらこの発言がまぶしく羨ましく感じた。境港市長の見解は、市民がしっかり知っておかないと実効性は担保されないという考えだと思いが、伊木市長は同意するか。

■市長 境港市長が発言されたことの真意については直接聞くしかないが、私は避難計画を住民に理解いただくことが重要であるという趣旨において賛同するという考え方である。

■議員 真意は言っているとおりだ。「市民に知っていたか」と避難計画も絵に描いた餅になる」という意味は、はっきりしている。避難計画は実効性がないと言っている。市長にそういった考えがあるのか聞いたのを聞いている。

■市長 実効性がないとは言っていないと思う。

■議員 では「避難計画も絵に描いた餅となる」はどのような意味だと市長は理解するか。

■市長 それは境港市長に聞いていただきたいと思います。

■議員 昨年の原子力防災訓練で住民アンケートの結果によると、屋内退避に備えて食料、飲料等の備蓄を3日分以上していると答えたのは4割、つまり6割の市民は3日分の備蓄はしていないことになる。少なくとも3日間以上の屋内退避を想定している現在の避難計画の実効性がこれでは担保されないのではないか。見解を求める。

■市長 地域防災計画には一定の実効性があると認識をしている。食料などの備蓄については、国や県による食料や飲料水などの生活支援物資の供給も予定されており、引き続き原子力防災訓練や啓発などを通じて屋内退避における食料などの備蓄の重要性の理解を深めるなど、計画の深化を図り、絶えず実効性を高めていく努力が重要と考えている。

■議員 いま、島根原発2号機は動いている。避難計画は先のことではない。3日分以上の備蓄は4割しかない現状で、屋内退避も含めた避難計画が有効に機能すると考えるか。

■防災安全監 実際にそのような事象が生じた場合は、食料、飲料水等々含めて、行政職員や

自衛隊等の協力を得ながら各御家庭への配布等の対応等も想定はしているの、実際の状況に応じて判断をしていく。

■議員 3日分以上の備蓄の状況が4割だとしても、その状況で事が起こって避難計画が現実なものとなったとしても、それは食料を配布するとかそういったことで対応ができると考えているのか。

■防災安全監 そう考えている。

■議員 その対応が具体的にどういったものかというのは非常に疑問だ。この現状を、つまり3日以上が4割しかまだ備蓄がない、これを増やすというのが喫緊の課題であると思わないか。

■防災安全監 今取り組んでいる課題だとは考えている。

淀江での産廃処分場計画について

■議員 これまで、市は終始この計画に関して、県がやることだからとして他人事で対応してきた。しかし、事業主体である鳥取県環境管理事業センターが2012年2月7日の理事会で淀江の地でこの計画を正式に決定する際、その採決において、理事の一員であった当時の米子

代表質問（よなご・未来）

市の副市長は、その時の理事会には欠席をしていたが、書面評決で賛成をしている。また、計画地の半分近くは市有地であり市はこの計画において最大の地権者である。つまりこの計画の成否を左右する立場にあった。この計画に関しては、これまで地元の住民からの反対の声が上がり、紆余曲折を経て最終的には現在全ての関係自治会がこの計画に同意をしている。ただ、同意を得るに当たっては、県や事業センターは産廃計画に伴う地域整備事業の具体的な要望を各自自治会から募り、この要望に当たって、計画に反対する自治会は整備事業の対象にならないというようなことをちらつかせ、それまで反対の姿勢を示していた自治会は、苦渋の決断を迫られた結果である。関係自治会の同意を経て、この3月29日、関係自治会と事業センター、鳥取県、米子市は環境保全協定を結んだ。その協定において、県は、事業センターの処分業務について最終的な責任を負うと明記されているが、市に関しては責任という文言はなく、支援という文言だけである。市も、この処分業務について周辺住民に対し

て責任を負う立場であると私は考えるが、市の見解を伺う。

■市長 処分業務の責任については、事業者である鳥取県環境管理事業センターが負うもので、本市が責任を負うことはない。本市の役割は、関係自治会の地域の生活環境に支障が生じていないことの確認や地元自治会の権利の行使などの際に、地元の声を聞いて地元自治会から何らかの要請があった場合の支援、このことについて責任を負うものと認識している。

■議員 この事業センターが行う処分業務、なぜ協定では県が最終的な責任を負うことになっているのか。

■副市長 県は、産業界のインフラとして産業廃棄物の最終処分場が必要だということ、産業振興の観点、あるいは廃棄物の適正処理の観点で一定の責任を持っている。そして、それがゆえに、費用負担もしている。そういう立場、立ち位置から最終的な責任を県が負うという規定になっていると、理解している。

関連質問（よなご・未来）

市役所借地解消の道筋について



まつだ しんや
松田 真哉 議員
(よなご・未来)



■議員 さきの市長選において、私がずっと公約として掲げてきた市役所の借地の解消が争点の一つになった。市長は「借地問題なんてすぐに解決させますから、もう争点になりません」と発言された。市長に再任された2か月たつ。市役所借地問題について、いつ解決でき、いつ借地買取りの契約ができる見通しとなったのか。

■市長 今、交渉中である。すぐの感覚にはいろいろある。できるだけ早くという意味である。

■議員 選挙中に市長が訴えられた「すぐ」という言葉で、市長に再任されたら、本当にすぐ解決してもらえんと思うて投票された方は多いと思う。3万人を超える市民を裏切ることになるのではないか。では、市役所借地解消に向けて市長再任後か

ら具体的にどのような進展があったのか。最後の契約成立に向けて、どこまで進んでいるのか。

■市長 進捗については、今議会中に、説明をする段取りを調整中である。

■議員 市役所の借地は、複数の土地がある。当然、市が全ての土地を一括で買い取った上で、大規模改修に移るという方針で間違いないか。

■副市長 大規模改修に入る前に買取りが確実に実現できる状況をつくってまいりたい。

■議員 大規模改修までに土地の所有権を移転しない場合もあるということなのか。

■副市長 大規模改修前に権限を市に移転することが理想的であるが、地権者には地権者のご事情があり交渉中である。

■議員 それでも、借地解消といえるのか。

■副市長 仮に大規模改修に着工する時点で権限が移動しない場合でも、将来、取得できるということは最低限整えたい。

■議員 市長が目標とする買取り契約時期はいつなのか伺う。

■市長 できるだけ早くということに尽きる。時期まで明言できないとしかお答えできない。



くにとう やすし
国頭 靖 議員
(よなご・未来)



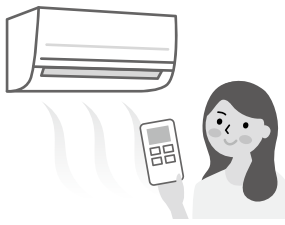
安心・安全のまちづくりについて

■議員 最近、マスク等を見ると毎日、真夏日、そして猛暑日という日が続くとこの6月でもさやかれている。熱中症に関して、現在、米子市ではどのぐらい毎年発生しているのか、現在の対策について伺う。

■福祉保健部長 本市の熱中症疑いによる搬送者数は令和5年度が155人、令和6年度が170人であり、増加をしているところである。熱中症対策としては、外出時に一時的に暑さをしのげる場所として、令和6年度から民間の事業者の協力を得て、市内各所によなご涼み処を設置し、今年度の設置数は90か所である。また熱中症予防に関するチラシを自治会回覧や市内の中学校での配布、在宅福祉員による高齢者の見守り訪問などを通じて配布するとともに、市

のホームページ、広報よなご、市内各所のサイネージなどでも周知・啓発を行っているところである。

■議員 境港市は、この4月から熱中症対策のエアコン補助を始めている。対象者は、生活保護受給者や子どもを持つ世帯、独り親世帯など条件があるが対策を一步進めている。また、他の市町村では、在宅福祉員の活用の取組もあり、本市でできることはないのかと考えている。やはり35度、猛暑日そして40度を今後は超えていくかもしれないことからすれば、酷暑日と言われるようなところが発生するかもしれない状況に、防災行政無線で警報してはどうかと思っている。ぜひ、もう一段踏み込んだ熱中症対策として、これは災害級と考えて取り組み、市民の生命を米子市としてしっかりと守っていただきたい。



よしおか こと
吉岡 古都 議員
(よなご・未来)



レジオネラ菌検出の原因究明と再発防止について

■議員 淀江ゆめ温泉でのレジオネラ菌検出の原因の一つとして、浴槽のタイル目地の劣化を県により指摘されているが、令和元年に市が実施した改修工事に責任はなかったのか伺う。

■淀江支所長 適切な部材を使用し適切な工事が行われており、かしはなかったと考える。

■議員 令和7年4月に報告された目地の剥離を市は目視で確認したのか伺う。

■淀江支所長 事業者から確認の申出もなく、確認も把握もしていなかった。

■議員 結果的に5年で修繕になり、工事が適切ではなかった可能性もある。レジオネラ菌繁殖との因果関係の検証を要望する。また、再発防止のため浴槽水のモノクロラミン薬剤による消毒を提案するが所見を伺う。

■淀江支所長 一つの方法だが衛生管理の方法については、経営のことも含め、指定管理者が判断するものと考えている。

■議員 モノクロラミン薬剤を導入した自治体では、管理者、利用者ともに好評のようである。県と連携し、指定管理者の判断をサポートしていただきたい。

女性・若者に選ばれる職場づくりについて

■議員 厚生労働省の「えるぼし認定」を受けた企業は、鳥取市では10社、本市では1社に留まる現状をどう考えるか伺う。

■総合政策部長 「えるぼし認定」の制度普及を図れば増える可能性がある。制度普及について、所管の鳥取労働局と話をしてみたい。

■議員 人材確保の観点から、職場における男女の処遇の公平性を高めるための本市の取組について伺う。

■総合政策部長 様々な優良企業認定を受けた企業をロールモデルとして普及していきたい。

■議員 男女の公平性を重んじる職場を増やすことが、持続可能な米子市となる。取組を推進する組織体制を要望する。



議員
岩崎 康朗
(自由創政)



市長3期目の市政運営について

■議員 今後4年間において特に重視する施策について伺う。

■市長 人口減少社会の中でも持続可能なまちにしていくなために、第2次米子市まちづくりビジョンに掲げた7つの柱に沿った施策をしっかりと推進していきたい。特に将来を担う子どもたちのために充実した教育を提供し、また活躍の場を整えて、さらには子育て支援を充実させながら、少子化対策に成果を出せるように努力をしていきたい。

第5次米子市行財政改革大綱「次世代進化プラン」について

■議員 第4次米子市行財政改革の総括について伺う。

■市長 2040年問題への対応が主な目的であり、従来の量の削減だけでなく、市民サービスの質の向上にも着目をして取

組を行い、財政運営について一定の成果を出すことができた。

デジタル技術の活用による業務の自動化と省力化については、DX化の推進の結果、業務の合理化と人役の削減と創出を図ることができた。公民連携や公公連携については、鞆町庁舎や米子アリーナにおける県との共同整備のほか、民間事業者との連携に取り組み、公共下水道施設の包括的民間委託の導入などの成果につなげることができた。

自動運転（レベル4）など先進技術導入・コミュニティバス充実など路線バス再編の推進について

■議員 自動運転バスの導入について伺う。

■市長 バス事業者の運転手不足の改善や交通事故の削減など公共交通をめぐり環境改善を図るために、先進的自動運転バス（レベル4）の社会実装に向けて、本年2月25日に本市は関係機関と連携協定を締結した。自動運転バス導入による効果により、市民の移動手段の持続的確保につなげたい。また、導入に適した地域や路線については自動運転バス導入に向けた国土交通省の自動運転社会実装推進事

業に事業提案しており、採択を受けたら、今年度はレベル2で乗車需要、拠点性が高い施設間での実証運行を開始し、来年度にレベル4での運行に移行したい。なお、路線については、米子駅から鳥取大学医学部附属病院の間での運行を考えている。その後、町なかや郊外でのコミュニティバスに自動運転バスの導入を目指し、将来的には乗車需要の高い路線バス区間における導入も目指していく。

■議員 公共交通の充実と路線バス再編の推進について伺う。

■市長 米子市地域公共交通計画に基づき、生活交通の確保を図るため、地域の特性や移動ニーズを把握しながら、路線バスの再編と併せてコミュニティバスの導入を順次進めている。例えば弓浜地区においては、昨年10月から巡回バスよねぎーバスの実証運行を開始しており、今年度中に本格運行に移行する予定である。また、箕蚊屋地区においては、地域住民への意見聴取やバス事業者などとの調整を進めており、実証運行の開始に向けた関連予算案を本議会に上程をしている。そのほか、南部地区では、地域の特性に合わせ

た適切な交通の在り方を検討しており、また、淀江地区では現在運行中のどんぐりコロナをより使いやすいルート設定となるよう見直しを検討しているところである。

中国横断新幹線（伯備新幹線）及び山陰新幹線の整備促進について

■議員 中国横断新幹線（伯備新幹線）及び山陰新幹線の整備促進について伺う。

■市長 国土交通省が平成29年から幹線鉄道ネットワーク等の在り方に関する調査を開始しており、私たちが要望している伯備新幹線や山陰新幹線が次期整備計画に格上げしてもらえようという期待が高まっている。先般、松江市内で行われた中国横断新幹線整備推進会議では、フル規格の整備を前提としつつ、より現実的な整備プロセスとして、ミニ新幹線など段階的な整備も視野に入れて取り組むことを提案し、決議に盛り込んだところである。今年度の活動については、私たちと同じく整備計画路線への格上げに向け取り組んでおられる四国新幹線整備促進期成会、さらには伯備新幹線・山陰新幹線整備促進米子市議会議

員連盟とも連携をしながら、複数回、新幹線の早期整備を国に強く訴えていきたい。

男女共同参画社会の形成について

■議員 男女共同参画社会の形成に向けた取組の現状と課題について伺う。

■市長 第4次米子市男女共同参画推進計画に基づき、普及啓発のほか、かぶりあ祭の開催や子育て中の女性への資格・免許取得支援事業など各種取組を進めてきたところである。今年度の推進計画については、働く女性のヘルスケアや女性が望む働き方が実現できるスキルアップ支援などを通じて働き方や職場改革を起点とした地域社会の改革を促していきたい。また、女性が活躍している市内事業所をロールモデルとした情報発信のほか、性別による固定的な役割意識にとらわれない環境づくりに向け意識啓発を強化しながら、誰もが自分らしく生き生きと活躍できる社会づくりを推進したい。

部活動地域移行支援について

■議員 中学校部活動の地域移行の現状と課題について伺う。

■教育長 令和4年度から米子市版部活動の在り方協議会を開催し、部活動に地域人材を活用したり、複数の学校が合同で活動したりする地域連携を織り交ぜながら部活動改革を進めてきたところである。部活動の地域展開に係る公的負担については国、都道府県、市区町村で支え合うことが国の方針で確認されたことから、財源の確保に向けたさらなる要望活動をしていきたい。今後、休日は原則全ての学校部活動において地域展開を目指し、持続可能な制度となるよう改革を進めていきたい。

児童生徒の不登校対策について

■議員 いじめや不登校の現状と課題について、また児童生徒の不登校対策について伺う。

■教育長 いじめについては、未然防止や早期発見、積極的な認知に努め丁寧な対応を続けている。近年、インターネット上のトラブルも増加傾向にあり、情報モラル教育のさらなる充実を図りたいと考えている。不登校の現状については、不登校児

童生徒は小中学校とも年々増加しており、スクールソーシャルワーカーの増員やオンラインでの学習支援などの取組を進めているところである。未然防止に向け、こども総本部と一体となつて家庭教育支援に取り組んでいきたいと考えている。コロナ禍後2年がたち、教室で元気に歌を歌ったり、運動会や体育祭で笑顔で活動したりする姿を多く目にするようになってきたところである。子どもたちが楽しい場所だと感じるのが、何よりの不登校対策だと考えており、こうした安心できる生活環境と楽しい学校づくりの取組を進めながら、依然学校に通いづらい子どもたちについては状況が好転するよう引き続き全力で支援に努めていきたい。

皆生温泉のまちづくりについて

■議員 皆生温泉の活性化に向けた現状と課題について伺う。

■市長 現在、皆生温泉エリア経営実行委員会を中心にホームページやSNSによるエリアの情報発信を行い、飲食店舗などの新規事業者の誘致やかいけらボ共同事業体によるまち歩きイ

ベント「ぐるぐるかいけ」の開催に取り組んでおり、観光客や地域住民が訪れたくなるまちづくりを進めている。海岸遊歩道については、街灯の整備に続き、芝生広場やベンチの設置など居心地のよい滞在空間の整備を進める予定である。これにより観光客や地元客の滞在時間が延長となり、消費の拡大につながることを目指している。また、海や砂浜については、米子市観光協会を中心として皆生温泉海遊ビーチの運営やカイクエジャンボリーなどのイベントを開催することによりビーチの通年利用を進め、誘客を図っている。昨年は、周辺の他の海水浴場が集客人数を減らす中、皆生温泉海遊ビーチだけが来場者を増やすなど着実に成果を上げている。課題は閑散期の誘客対策であり、大手旅行会社と連携をしてプロモーションやインバウンドの誘客による平日宿泊の促進などに取り組み、来場者の平準化を図っていきたい。

若者の将来的な地元定着の促進について

■議員 本市への移住定住に対する考えと、若者の将来的な地

代表質問（自由創政）

元定着の促進について伺う。

■市長 移住定住については、本市が誇る自然の豊かさや水や食べ物のおいしさなど米子の暮らしやすさやまちの魅力をPRして、効果的に情報発信をしていくことで本市への移住定住につながるものと考えている。そこで新たに移住PR動画を作成し、TVerで東京圏の20代から40代に向け配信したところである。また、若者の地元への定着については、米子の都会になりよさをもっと私たちが認識して伝えていく努力が必要だと思っており、ふるさと教育に力を入れ、郷土の歴史や文化、偉人の話をするなど地元のことをより深く学んでもらう取組を行い、子育て支援についても、妊娠前から切れ目のない支援を目指して様々な取組を進めてきたところである。たとえ都会に出たとしても行った先で活躍をし、いずれ何らかの形で地元へ貢献してくれれば、それもうれしいと思っています。何よりも米子のまちが若者にとってチャレンジできるまちであることが大切であり、そのための努力を続けていきたい。

上下水道給排水管の耐震改修促進について

■議員 上下水道管の老朽化対策と耐震化の現状と課題について伺う。

■上下水道局長 昨今の上下水道管の老朽化を起因とする道路陥没事故や昨年1月の能登半島地震など大規模災害の頻発化に鑑みると、上下水道管の老朽化対策や耐震化は喫緊の課題である。耐震化については、上下水道管について基幹管路における令和4年度末時点の耐震化率は全国平均が28・2%であるの対し本市は28・9%とやや上回っており、また防災上重要な施設として位置づける下水道管の耐震化率は令和5年度末時点で全国平均の55・7%に対し本市は64・0%と上回っている。これについては、本年1月に策定した上下水道耐震化計画に基づき、防災上重要な施設に接続する上下水道施設に関し今後20年間程度で計画的に耐震化を予定している。課題については、上下水道管の老朽化対策や耐震化には多くの事業費を要するため、国庫補助などの財源の安定的かつ継続的な確保が重要である。

関連質問（自由創政）



にし の たい ち
西野 太一 議員
(自由創政)



自動運転レベル4実装を目指した公共交通モデル実証事業について

■議員 実証事業に係る補正予算の3億7500万円については協議会への負担金と示されているが、詳細を伺う。

■総合政策部長 バス事業者や国・県とともに協議会を立ち上げ事業を実施していくが、内訳は車両導入に要する経費として約1・6億円、システム関係が約1億円であり、その他一般経費など含めて計上している。

■議員 今回の3億円は国の補助金で賄えているが、本格導入する際に取得可能な補助金は現段階でどのようなメニューがあるのか伺う。

■総合政策部長 本市がこのたび申請をしているのは、国土交通省の自動運転社会実装推進事業であり、総務省でも自動運転の導入に向けて使える予算は準備をされている。また今の国の

動向として、これはまだ報道ベースであるが、全国10か所程度を自動運転レベル4の先行的事業化地域として選定をして、より重点的な支援を行う方針も示されている。

■議員 ぜひ先行的事業化地域に選定されるよう引き続き調査・研究をお願いしたい。また本格導入となった場合、ランニングコストなどがわかるが、収益を単独事業で考えるのではなく市全体の利益として考える必要がある。

障がい者アートプロジェクトについて

■議員 本市職員の名刺をバディアートで作成してみてもどうか。名刺はたくさんの方々に障がい者アートを知っていただくことのできるツールになると考えるが、所見を伺う。

■市長 前向きに取り組みたいと考えている。バディアートの他に障がい者アートを組み合わせている事業所があると聞いており、職員の名刺デザインの作成については、これらの事業所の皆様と協議を行い、取り組んでいきたい。



とだ りゅう じ
戸田 隆次 議員
(自由創政)



尾高城跡について

■議員 尾高城跡については、国史跡の指定を受けた段階で保存活用計画を策定し、今後の事務対応をすべきと考える。その事務対応について、停滞感が否めないが、見解を伺う。

■市長 議員御指摘のとおり、尾高城跡も米子城跡と同様に重要な史跡であり、整備方針を検討することとしている。今後、米子城跡の整備を推進しつつ、尾高城跡についても、保存活用計画の策定に向けた準備を進めていく考えである。

■議員 尾高城跡の事務対応については、地元等多方面から全く動きがない等の意見を多数伺う。早急に事務対応されるよう市長の意気込みを伺う。

■市長 この尾高城跡保存活用を推進するためには、財源の確保のほか、史跡全体の状況把握

やそれを踏まえた保存活用に向けた方針の策定、そして、そうした実務を担う文化財専門職員の育成確保が必要である。今後、保存活用計画の策定に必要な予算措置や実務を担う体制の整備をすることとなるが、史跡整備に着手するまでの間においても、維持管理の向上に努めたい。

ファミリー・サポート・センター事業について

■議員 ファミリー・サポートセンター事業における令和6年度における依頼件数は3656件であり、それに対し援助会員数は212人である。援助会員数が少ないため、援助会員確保に向け公民館等の活用等、多角的な活動をすべきと考える。

■市長 本事業については、地域の会員同士が支え合うことで子育て家庭の負担軽減することが目的である。本市の子育て支援においても、その重要性が増しており、本事業を安定的に運営するためには、援助会員の確保が急務と考えているため、その確保に向け広報活動を強化していきたい。

（その他の質問項目）

○日野橋について



いな た きよし
稲田 清 議員
(蒼生会)



市長の政治姿勢について

■議員 市長選に当たり7つの項目を中心に公約を掲げ、特に教育分野にかける思いを示されたが、その内容について伺う。

■市長 充実した教育を提供し、いろいろな分野で活躍できる場を整えることが最も重要な政策と考えている。また、子どもを育てる親へのサポートについても同様に充実させたい。具体的には、多様な学びの機会の確保に向け、校内サポート教室や教育支援センターぷらっとホームによる取組を充実させるほか、部活動の地域展開に向けた地域人材の積極的な活用や、学校図書の実を図り読書の環境を整えたい。子育て支援については、多胎児が誕生した家庭への経済的な支援や公立保育所統合建て替え、相談体制の充実を進めていきたい。

合併20周年記念事業と淀江地域における課題について

■議員 去る5月17日に新米子市発足20周年記念セレモニーが盛大に開催された。今後も20周年を記念するイベントが続くと思われるが、どのようなイベントが行われるのか、また、淀江地域における課題も伺う。

■市長 淀江でのフォトコンテストなどのにぎわい創出イベントなどにより、新米子市発足20周年を祝うとともに、魅力を広く発信していく。また、機運醸成を図るために20周年を象徴する特別事業や本市や民間の事業者が主催する事業を冠事業と位置づけ、本年中に断続的に実施していく。これらの取組を通じて、本市のさらなる発展へとつなげていきたい。淀江地域における課題については、伯耆古代の丘エリアを中心とした地域への集客数のさらなる増加を図っていくことと、淀江地域の特色を生かした振興策を展開することについて、関係者より一層連携強化を図ること、そして地域資源の情報発信の充実などを課題として捉えている。

歩いて楽しいまちづくりについて

■議員 米子駅を中心として多くの市民、観光客が町歩きする様子を期待している。事業の進捗とその実情をしっかりと確認していく必要があると考える。

米子駅周辺、角盤町周辺、米子港周辺及び東山公園周辺の4つのエリアについて、それぞれどのような目標を掲げて事業が実施されているのか伺う。

■市長 歩いて楽しいまちづくりを推進するために、都市再生整備計画を策定した上で、国のウォーカブル推進事業などの財源を活用しながら各種整備を進めている。米子駅周辺地区は、居心地がよく歩いて楽しい環境づくりによる駅前のにぎわい創出を、角盤町周辺地区は、商業施設や商店街を中心とした歩行者の散策回遊ネットワークの形成を、米子港周辺地区は米子港、新加茂川、加茂川など貴重な親水空間を生かした新たな魅力の創造を、東山公園地区は、スポーツの拠点となる東山公園において、健康増進機能のさらなる集積を、それぞれ地区ごとの目標として事業を推進している。

町家の保存・活用の推進について

■議員 インバウンド事業の取込先として町家の活用を望む。

2024年の日本における訪日外国人旅行客数は約3700万人で、コロナ前の水準を回復しており、政府は5年後の2030年には現在の2倍の6000万人の目標を掲げている。このたび策定された米子まちづくりビジョンにおいて、令和11年の目標値として約7倍の10万5000人が掲げられている。その受皿として町家の活用を訴えている。歴史的資源を活用した観光まちづくり推進事業に地域の合意形成を図りながら、官民連携で事業として推進すべきと考えるが、見解を伺う。

■市長 町家の活用について、所有者や地域住民との合意形成などの課題があるが、課題を乗り越え、歴史的資源を保全し、後世に伝えることは大切だと考えている。これについては、観光庁事業の活用に向けた民間団体の動きがあり、まずは具体的な事業内容などについて団体との情報共有を図りながら、本市で対応できることを考えたい。

朝日町エリアのウォーカブル推進事業について

■議員 ウォーカブル推進エリアとして米子駅周辺エリア、角盤町周辺エリアそれぞれの事業が進み、令和7年度から朝日町において対象となる路線等について今後動きがあるものと考えている。そこで、令和7年度において具体的にどういった動きを考えているのか伺う。

■市長 朝日町エリアの今年度の動きについて、これまで朝日町エリアについては、朝日公園の再整備を行ったが、朝日町通り線などのウォーカブル推進路線について、現段階では整備の予定はない。このような中、今年2月に朝日町や角盤町の活性化を目指して朝日町通り商店会が設立されたところであり、関係者からは朝日町を明るく歩きやすい町にしていきたいとの考えを伺っている。現在、朝日町の活性化に向け、朝日町通り商店会を含め、地元関係者とまちづくりに関する意見交換を行っている。そこで伺った要望や意見について、必要な整備や支援できるものがあれば対応していきたい。

安全・安心なまちづくりについて

■議員 街路灯の問合せをよく受ける。その街路灯が道路照明灯なのか防犯灯なのかを申請する側で把握することは困難である。窓口を一括にすべきではないか伺う。また、リチウムイオン電池による火災や発火事故のため、環境省から家庭から出される不要になった全てのリチウムイオン電池を市区町村が回収するよう求める方針の通知があったと思われる。状況を伺う。

■市長 街路灯の不具合を一括で受け付ける窓口について、道路照明灯は、今年度、一斉にLED化を予定しており、本市の管理プレートを設置するため、道路照明灯と防犯灯の見分けがつきやすくなると考えられるがそれでも分かりにくい点が残ると考える。どちらの窓口にも連絡があっても相互に連携して対応したい。また、リチウムイオン電池は、家電量販店などのリサイクル協力店に持ち込んでいただくよう案内をしている。環境省の通知を受け、実情に合ったリチウムイオン電池の回収方法を検討したい。

道路整備について

■議員 米子・境港間の高規格道路について、概略ルート案や道路の構造を検討する計画段階評価の手続が始まり、早速3つのルート帯案が提示された。これを受け、今後どのような工程でルート決定、事業採択まで至るのか伺う。市道安倍三柳線は、施政方針において、市道安倍三柳線第2工区の一部区間について、本年度末での暫定供用開始を目指すといったが、その具体的な状況について伺う。また、米子駅南口から新体育館までの道路整備について、昭和町東福原線、昭和町大谷町線など、米子駅南口から新体育館へ向かう道路の整備について伺う。

■市長 米子・境港間高規格道路の事業採択までの工程について、現在、3つのルート帯案が示されており、今後、国土交通省において全戸配布のアンケートや道路利用者へのヒアリング調査など、総合的な比較評価により3つのルート帯案から一つに絞り込みが行われる。ルート帯案や構造については、社会資本整備審議会道路分科会中国地

方小委員会に諮り、最終的に概略ルートと基本的な構造として選定される。概略ルート決定後の工程については、詳細ルートや構造の検討及び都市計画環境アセスメントを進めるための調査が行われ、新規採択時評価を経て新規事業化へと進むものと伺っている。本市としても、早期の事業化に向け、関係機関と連携をして取り組んでいく。市

道安倍三柳線改良事業第2工区の進捗状況について、現在、県道両三柳西福原線（通称外浜産業道路）から県道東福原樋口線までの区間の今年度末の完成を目指して工事の進捗を図っており、工事完了後に供用開始する予定としている。また、県道東福原樋口線から国道431号までの区間の物件移転補償に向けた用地調査を実施中であり、今年度中に用地買収と物件移転補償に着手し、事業の進捗を図っていく。米子駅南口から新体育館へ向かう道路の整備内容について、現在の道路幅員内で歩行空間を可能な限り確保し、側溝の設置や改修、また歩行空間の美装化や路面標示などの設置により、歩きやすく分かりやすい歩行環境の整備を行っていく。

学校給食について

■議員 食材費等の高騰への対応について、食材を含め、物価が上昇しており、特に米については、昨年秋季頃から価格が上昇している状況である。学校給食費について、給食費無償化に向けた動きについて伺う。また、給食費の納付状況について、物価高騰の影響が家計に及んでいる。給食費の納付状況に何らかの影響があるのではないかと思うが、納付状況について伺う。

■教育長 学校給食費の状況について、物価高騰下における令和7年度の学校給食費は、1食当たり小学校が315円、中学校が367円である。給食食材の物価高騰に対する支援を行い、保護者負担が増えないように、小学校保護者負担は280円、中学校保護者負担は330円としている。国において給食費無償化に向けた動きがあるため、それを見据えながら検討を進めている。最近の給食費の納付状況について、令和6年度は収納率は99・87%で、未納額は87万4909円となっている。

上下水道局について

■議員 令和7年4月1日付で新たに上下水道局が設置された目的について伺う。また、上下水道局におけるウォーターP Pへの取組について伺う。

■上下水道局長 事務の連携や共通化など経費削減に取り組んできたが、施設などの老朽化に伴う更新需要の増大や人口減少に伴う料金収入の鈍化、人材の確保、育成をはじめとする技術継承など共通の課題を抱え、今後、経営環境は一層厳しさを増していくため、安全・安心で安定した上下水道サービスを持続的に提供することができるようより効率的な事業運営を行うため、また、上下一体の災害対応力の強化を図るため、上下水道局を設置した。ウォーターP Pへの取組について、人口減少に伴う使用料収入や技術系人材の減少、老朽化ストックの増大などの課題を抱えており、これらの課題解決手法の一つとして有効であると考えている。まずは処理場の包括的民間委託で先行している下水道事業を対象に取組を進めたいと考えている。

■議員 本市は県が制度化するよりも先に、障がい者福祉サービス事業者や医療機関などと連携して、緊急時受入れ対応事業所として、6事業所を登録しているが、現場における一番の課題は、相談支援専門員の人材不足である。そこで、本市の対応策について伺う。

障がい者のグループホームについて



つか だ よしみつ
塚田 佳充 議員
(蒼生会)



■議員 今年度から県は地域生活支援拠点となるグループホームの整備に対して補助金を制度化したが、その地域生活支援拠点制度について伺う。

■福祉保健部長 地域において生活する障がい者の重度化・高齢化や親亡き後に備え、地域での生活に移行を希望する障がい者等が安心して暮らせるように障がい者福祉サービス事業所や医療機関などが、連携して支援を行う体制のことである。

■議員 本市は県が制度化するよりも先に、障がい者福祉サービス事業者や医療機関などと連携して、緊急時受入れ対応事業所として、6事業所を登録して

■福祉保健部長 障がいのある方が円滑に福祉サービスを利用できる環境を整備するため、相談支援専門員を新規、または追加で配置した事業者に対して人件費を補助する米子市障がい福祉サービス利用コーディネート機能強化事業を県と協調し実施しているところである。

校庭・園庭芝生化の現状と今後の取組について

■議員 公立、私立、民間関係なく全ての米子市の子どもたちに芝生の上で遊んで、走り回ってもらいたいと思っている。本市全ての学びの場の芝生化について伺う。

■教育長 各学校で校庭の利用方法が異なるため、各学校の事情や要望を踏まえた上で、実施する校数や規模などを考えていきたい。

■市長 幼児期や学童期は子どもの発達に大変重要な時期であり、子どもの健やかな成長のための環境づくりとして、芝生化は有効だと認識している。より良い教育環境の下で未来を担う子どもたちが健やかにたくましく育つように、引き続き取り組んでいきたい。



おく いわ ひろ き
奥岩 浩基 議員
(蒼生会)



スポーツ施設について

■議員 市初のPFI、県との共同施設が着工したが、体育館以外で研究中のものはあるか。

■文化観光局長 市営皆生市民プールと県営東山水泳場について、県と協議し、今後の在り方について研究している。

■議員 アイススケートリンクは県内に存在しないが、本市出身選手が大きく活躍している。競技面と観光面から考え、その必要性の認識について伺う。

■市長 競技の普及強化はもちろん、国際交流や観光の面においても効果を期待できるのではないかと考える。

■議員 県と共同、民間連携も視野に入れた施設整備を検討・研究する段階に入っていると考えるが、所見を伺う。

■市長 県全体の課題であると認識している。本市単独ではな

く、県との共同整備、民間連携による整備も調査・研究することになるものと考えている。

農業振興策について

■議員 昨年のイネカメムシ防除の効果、収量の安定化に対する考え方を伺う。

■経済部長 防除効果は十分にあったと認識している。今後も啓発を行い、被害防止と収量安定に努めたい。

■議員 インディカ米をかけ合わせた台湾の蓬萊米のように、高温障害に強い品種の開発を、国、県と共同で行ってはどうか。

■経済部長 国、県、JAなどが候補品種を用意して実証実験を行っていると同っている。

■議員 県外の「ほたる米」のようにブランド化を考え、春日地域と連携してみてはどうか。

■経済部長 地域計画の見直しの際、環境配慮型農業の取組の可否も含め、地元と相談したい。

■議員 蛭を観光資源とし、事業化を考えてみてはどうか。

■文化観光局長 日南町の取組を確認し、必要に応じ、関係者の考えを伺いたい。



かどわき かずお 議員
門脇 一男
(蒼生会)



農業振興策について

■議員 肥料をはじめとする農業資材は原料を輸入に頼っているため、ここ数年高騰したままの状況である。そこで現在、国内生産が可能な下水汚泥の肥料化に注目が集まっているが、その取組状況について伺う。

■上下水道局長 令和5年度、国が実施する汚泥分析事業を活用し、重金属成分が基準値以下、肥料成分の窒素、りん成分が基準値以上含まれることを確認した。令和6年度、試作品が肥料として利用可能な成分を満たし、試験栽培により育成上も問題がないことを確認した。本年度は再度国の汚泥分析事業にて成分分析をする計画である。

■議員 このことから、本市の下水汚泥が肥料として活用できるのではないか。今後の肥料化への取組について伺う。

■経済部長 肥料として商品化のめどが立った段階で、関係機関において販売について検討していただくよう協議する。

■議員 本市の白ネギをPRし、知名度を向上させるためにも出展すべきと考える「全国ねぎサミット」の本年度の開催要項について伺う。

■経済部長 これまでは東日本を中心に13回開催され、今年度は11月23日と24日の2日間、兵庫県朝来市で開催予定である。

■議員 西日本での初開催で、隣県の兵庫県朝来市が会場ならば、またとない機会である。市長自らがブースに立てば本市の白ネギの宣伝効果も上がり、販売促進にもつながる。また、将来的には本市での開催も考えていただきたいが所見を伺う。

■市長 この「全国ねぎサミット」は、全国規模で本市特産の白ネギをPRする絶好の機会である。調整がつけば私もサミットに参加し、米子の白ネギの魅力をしっかりと発信したい。また、将来的な本市での「全国ねぎサミット」の開催については、来年度以降も継続して参加を検討し、開催運営に関する知見や経験を積み重ねたい。



わたなべ じゅんじ 議員
渡辺 穰爾
(蒼生会)



空き家対策について

■議員 借地に建つ空き家について伺いたい。市内の空き家は依然として増加傾向なのか伺う。

■都市整備部長 住宅・土地統計調査によると空き家の数は増加傾向にあるとされている。

■議員 市中心部の空き家の数について伺う。

■都市整備部長 啓成地区は458戸、明道地区で29戸、就將地区で197戸、義方地区で431戸である。

■議員 空き家になる原因は様々あるが、どのような理由で空き家になるのか伺う。

■都市整備部長 理由としては、住人の死亡が46%、転居が15%、施設入所及び入院が12%、所在不明が13%である。

■議員 米子市は借地に建つ家が多いと思うが、所感を伺う。

■都市整備部長 米子市は土地

と建物の所有者が異なる場合が非常に多いと思っている。

■議員 借地に建つ空き家への対策について伺う。

■市長 借地に建つ空き家については、もろもろ課題があると思われる。令和5年度末において、特定空家27軒のうち、10軒が土地、建物の所有者が異なっており、借地に建つ空家がそのような状況になっている。仮に一致していれば、資力がなかったとしても、解体費用を最終的に土地の売却代金で賄うというスキームが取れるが、ばらばらであると、そのスキームが取れない。また、土地所有者にとつては、待ってさえいれば行政代執行をしてももらえるという逆のインセンティブが働くこともあり、難しい処理である。これについては、国、法律も、想定していない課題であると思料されることから、現在、国に対して土地所有者の管理責任の明確化など、法改正を要望しているところである。

（その他の質問項目）

○相続登記義務化について



おおした てつじ 議員
大下 哲治 (信風)



市長の政治姿勢について

■議員 多くの自治体では住民・事業者・地権者などが主体となりエリアマネジメントの取り組みが進められている。本市においても子育て、介護、空き家、地域交流など多様な分野で民間主体による取組が進められているが、こうした民間主体のエリアマネジメントにおける行政の役割について伺う。

■市長 人口減少社会において、良好な生活環境の実現には、自治会だけでなくNPOや民間事業者など多様な主体の連携の必要性が高まっている。米子市としては、拠点施設の整備、公共交通の充実、土地利用の規制緩和などを進め、地域の実情に応じた多様なエリアマネジメント活動を促進することで「町なかと郊外の一体的な発展」を目指す。

バス交通の利便性と利用率向上のための施策について

■議員 多くの高齢者や障がいを抱える方々からは、家からバス停までが遠く、特に買い物帰りの際は重い荷物を持って歩くのが重労働であるため、バスを利用しないとの声を伺っている。他の自治体では、コミュニティバスなどで、バス停留所以外でも路線の運行区間内であれば、利用者の希望する場所で自由に乗り降りできるフリー乗降制を導入している。本市においてもこの制度の導入を検討してはどうか。

■総合政策部長 安全面の課題や運行スケジュールへの影響なども考慮する必要があるのですが、情報収集するとともに関係者と話し合ってみたい。

■議員 富山県朝日町では既存の公共交通機関と連携しながら、地域住民の生活に必要な移動手段を確保することを目的とした住民によるライドシェア制度を導入している。本市においても既存の公共交通機関ではカバーしきれないエリア等において、住民型ライドシェアの導入を検討してはどうか。

■総合政策部長 本市に当てはめた場合の地域ニーズや、事業としての持続性などもよく踏まえ、その導入可能性を見極めていくこととしたい。

淀江の地域振興について

■議員 令和6年度は、令和2年に策定された「伯耆古代の丘エリア活性化構想」の最終の年度であったが、改めて構想による地域のにぎわい創出効果の検証と課題分析について伺う。

■淀江支所長 史跡や自然等の地域資源を活用したイベントや魅力発信を継続してきたことにより、エリアへの来訪のきっかけ作りや認知度の向上に一定の成果があった。今後の課題であるエリアへのさらなる集客数の増加のため、エリア内施設の相互連携や、地域資源の情報発信に努めたい。

■議員 旧道沿いに増加する空き家や空き地を目にするたび、行政が目指す特定のエリアの活性化と、住民が求める地域の活性化との間に大きな隔たりが生じているように感じており、この隔たりを埋めることこそが、重要な課題であると考えている。

次期構想においては、民間団体や住民の方々の意見や意向を取り入れながら淀江地域全体の振興に取り組むよう要望する。

フレイル予防について

■議員 プレフレイル、フレイルの人たちに対する予防行動の定着や習慣化が課題となる中で、フレイル予防アプリは、様々な機能や特典により、多くの人が「始めやすく」「続けやすく」なるきっかけとなるだけでなく、行動の定着化を促す上でも有効な支援ツールだと感じている。については、本市におけるフレイル予防アプリのダウンロード数を増やすための対策について伺う。

■福祉保健部長 アプリを使ってフレイル度チェックをした人が市内の協賛店で特典を受けられる「元気エンジンイパスポト事業」及び、アプリ利用者を対象に、日々の予防活動でポイントがたまると「よなご健康ポイント事業」をスタートさせた。今年度からは、この健康ポイント事業の対象を40歳以上の働く世代に広げ、付与上限も1万ポイントに拡充した。アプリ利用

者の年代を拡大することで、働く世代からフレイル予防の習慣化を促し、アプリがさらに普及することを期待している。

重層的支援体制について

■議員 人口減少社会の進展など社会環境が急速に変化する中で、住み慣れた場所での暮らしを支えるには、より身近な場所での住民に寄り添った民間団体による相談・支援体制の推進が不可欠と考える。愛媛県のNPO法人では地域の人と人とのつながりを作る活動に加え、個別の困りごとに対して、専門機関や多職種が連携し、居住、生活心の回復、就労と段階的に生活を支援する活動を行っている。本市においても民間団体による相談体制の推進が必要だと考えるが見解を伺う。

■福祉保健部長 本市の重層的支援体制は、「えしこに」を中核として、行政のみならず民間の支援機関など様々な主体とのネットワークを構築しながら、取組を進めているところであり、民間団体による多様な相談・支援は重要であると考えている。民間団体等が緊密に連携し、役

割分担して支援を行うことで、包括的な相談支援体制を築いてまいりたい。

農業施策について

■議員 生産年齢人口が減少する農業において、担い手農家が生産コスト削減や生産性向上に取り組める環境整備が喫緊の課題と考える。国が推進する農地集積・担い手育成のための地域計画が各地域で策定されたが、この結果を踏まえた米子市における農業の今後の方向性を伺う。

■市長 農地の大区画化を目的にした基盤整備事業の実施や農地の流動化の促進及びスマート農業の導入促進により、担い手への農地の集積、集団化、営農の効率化を図る。

地産外商の推進について

■議員 現在、鳥取県産米の75%余りが県外に出荷されている中で、今後、県外からの観光客に対し、地元食材の提供に加え、農業体験を通じた生産者との交流を深めることが、地産外商に大きく貢献すると考える。他自治体では、ふるさと納税と連携

した田植え・稲刈り体験や「オーナー制度」で成果を上げていく。本市でも体験型交流等を取り入れることで、生産者と観光客双方にメリットをもたらし、地産外商を大きく推進できると考えるが見解を伺う。

■経済部長 農業体験イベントの観光資源化については、まずは関係団体の意向を伺いながら、実施の可能性や方向性について模索してまいりたい。

独り親家庭の切れ目ない支援体制について

■議員 多くの独り親は、仕事と子育てを一人で担っている。そのため、平日の日中に開庁している行政機関へ相談に行くには、仕事を休む必要があり、収入減少につながる恐れがある。また、普段から限られた時間の中で家事や子育てに追われており、行政相談に割く時間的な余裕はほばないのが現状である。そこで、相談に行けない独り親への具体的な支援策について伺う。

■こども総本部長 相談に来られない場合は、電話やメールで相談対応を行っている。また、必要に応じて時間外での対応も

行いながら、希望があれば、訪問による相談を行うこととしている。

■議員 オンラインサービス「お悩みハンドブック」は、市民の多様な困り事に対し、適切な支援制度や相談窓口を効率的に案内することを目的としており、オンラインで簡単な質問に答えるだけで、利用者は自分に合った複雑な制度を見つけられる。自宅から都合の良い時間に、誰にも知られず匿名で利用できるため、特に独り親家庭の保護者が抱える時間的・心理的な負担を大幅に軽減する効果が期待できる。米子市においても、このサービスの導入を検討するよう要望する。

障がい者の自立支援・就労支援の推進について

■議員 一人一人が大切にされる地域共生社会の実現に向け、支援を受ける側と提供する側における横のつながりが必要と考えるが、見解を伺う。

■市長 支援を受ける側と提供する側でネットワークを構築し、横のつながりを深めることで障がいのある方がより暮らしやすい社会になると考える。

■議員 障がい者への就労支援について、就労継続支援A型・B型の近年の就労状況について伺う。

■福祉保健部長 就労継続支援A型の月平均利用者数は、令和3年度から増加している。新規事業所が複数開設されたためと考える。また、就労継続支援B型では、令和3年度から利用者数が増加している状況である。

■議員 事業所支援について、その具体的内容を聞く。

■福祉保健部長 事業所の利用者への支援は、県の実地指導に市も同行し、生産活動の内容や工賃の目標額、目標達成に向け具体的な取組内容を確認している。この実地指導を通じて、利用者への質の高い支援が提供されるよう事業所に対し、必要に応じて助言や指導を行っている。

■議員 障がいの特性に合った



あだち たかし 議員
安達卓是 (信風)



支援について伺う。

■福祉保健部長 障がいのある方の希望を踏まえた個別支援計画を作成し、生活全般の相談に応じて支援している。また、就労定着と離職防止に向け、生活支援センターなどの関係機関との連携を図っている。一方、令和6年度からの就労継続支援B型事業所の平均工賃の算定見直しが行われ、実際に利用者が受け取られる工賃の実態に近い金額が示されるようになった。

特産野菜生産の振興について

■議員 新規就農の支援や人材確保について伺う。

■経済部長 新たな担い手の掘り起こし、育成は、特産野菜の生産振興には急務である。白ネギ産地の生産振興プランに基づき、担い手確保、育成に努めている。また、県内就農相談会への参加や、今年度、大阪の就農相談会への参加も計画しており、SNSなどを活用して県外からの就農者確保も目指したい。就農前には、栽培技術の習得、農地あっせん、経営アドバイスを行い、新規就農者の定着や早期の経営安定を図っている。

健康寿命の延伸とQOL(生活の質)向上について



いとう ひろえ 議員
伊藤ひろえ (信風)



■議員 認知症に対する理解が十分でないこと、孤立する状況があるという課題がある。そこで、認知症の人に対する誤解や偏見を生まないためには、市民一人一人が認知症を自分事として捉えることが必要だと思うが所見を伺う。

■福祉保健部長 自分自身やその家族、友人、職場の同僚など、年齢にかかわらず今や誰もが認知症になり得る中、自分自身や家族だけで抱え込まず、地域で支え合い、認知症の人が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、市民一人一人が認知症を自分事として捉えることが今後ますます重要になるものと認識している。

住民の視点に立ったサービスの向上について

■議員 窓口サービスの利用状況や満足度、改善点に関する住民アンケートを定期的に実施し潜在的なニーズを把握する必要があると考えている。アンケートの分析と継続について伺う。

■市民生活部長 現在、窓口サービスに係る住民アンケートについては行っていない。今後、本庁舎1階に導入を予定している番号発券システムの運用において、利用者に向けた窓口サービスに係る満足度調査を実施したいと考えている。

■議員 クレーム発生時に職員が安心して対応できる体制を整えていただきたい。また、カスターマーハラスメントについて、どのようなマニュアルを整備しているのか伺う。

■総務部長 来庁される方に丁寧な説明や傾聴を行うことを基本の姿勢として対応している。結果的に解決が難しくなり、カスターマーハラスメントに該当する事案が生じた場合、上司が判断を行うなど、組織的な対応を行うマニュアルを作成した。

■議員 混雑緩和のため、予約システムの導入について伺う。

■市民生活部長 オンライン予約を導入予定としている。



なかだとしゆき
中田 利幸 議員
(信風)



教育の充実と子育てしやすいまちづくりについて

■議員 本市では、新しくなった啓成小学校と同一敷地内に本年4月より東こども園が開園し、本市初の幼保小連携型教育の施設形態が生まれた。この新たな形態による教育の特徴と目標とする効果について伺う。

■教育長 特徴として、こども園と小学校の施設が同一敷地内にあり、日常的な交流が可能となった。今後、交流もより充実するよう努めたい。目標とする教育的効果は、園児は小学校を身近に感じ、小学校生活へのスムーズな適応に期待ができ、小学生は、園児への思いやりの心が育まれるなど、さらなる成長を促すことができる。また、教職員は、実際の様子を踏まえ、こども園と学校の教育の理解の上、連続性を意識した効果的な指導につながると考えている。

■議員 幼保小連携型教育の今後の展開について伺う。

■市長 今後の展開について、本市では、子どもたちが安心して学校生活をスタートできる環境づくりのため、幼保小の架け橋プログラムなどの取組を積極的に推進している。就学前から就学後まで切れ目のない支援を行うことが重要で、関係機関が情報を共有し連携する体制づくりを進めている。また、同一敷地内で幼保小連携を進める東こども園と啓成小学校についてはこの取組を象徴する施設で先導役として全市の取組をけん引する役割を担っているものとして大いに期待している。一方、物理的に同一敷地内になくても、様々な工夫や取組により、保育士や幼稚園教諭と小学校教諭の相互の交流の促進など、教育部門と福祉部門の緊密な連携を図りながら、一体となって子どもの育ちを多面的に支援していきたい。

■議員 この形態がうまく機能すればいい取組となる。この体制について期待をしている。

(その他の質問項目)

○災害に強いまちづくりについて

家庭教育支援条例について



もりおかしげお
森谷 司 議員
(新ファミリア)



■議員 家庭教育支援を考える上で、鳥取県青少年健全育成条例について伺う。

■こども総本部長 総則には、県民の責務として、保護者、家庭、学校、職場、地域住民など全ての県民は、青少年の健全育成に努めるべきであるとする。

■議員 青少年育成には、健全な家庭が必要であり、健全な家庭の支援が必要である。そこで、本市の過去3年間の婚姻件数と離婚件数について伺う。

■市民生活部長 婚姻件数は令和4年700組、5年628組、6年651組で、離婚件数は令和4年245組、5年235組、6年239組である。

■議員 婚姻件数と離婚件数の比率は35%から37%であり、ほぼ3組に1組が離婚している。こども総本部が多岐にわたる仕

事を担当され、大きな成果を上げておられることは評価している。この分野は医療で言えば、病院、クリニックのような役割で、家庭教育支援条例を基にした家族政策を担当する必要があるのではないか。

観光振興について

■議員 米子・ソウル便の搭乗率を伺う。また、その乗客の中の韓国人の割合を伺う。

■文化観光局長 平均搭乗率は79・7%と高く、その中で韓国人は約7割となっている。

■議員 「やりすぎ淀江伝説」や上淀白鳳の丘展示館などの施設案内など、外国人観光客のための多言語化について、どのような考えがあるのか。

■淀江支所長 外国人観光客に向けた多言語化への対応については、今後看板や刊行物などの更新の機会を捉えて、視覚的な案内表示や多言語での記載を取り入れるなど行いたい。

■議員 鳥取県、大山町、伯耆町と連携し、米子市が中心となつて韓国、台湾、アジアの観光事業に取り組んでいただくことを期待したい。

各 個 質 問

米子バイオマスの発電事業 の廃止について



にしきおり ようこ 議員
錦織 陽子 (日本共産党米子市議団)



- 議員 米子バイオマス発電所は、令和5年9月の爆発事故以来稼働をしていないが、6月に発電事業をやめると報道された。工場内は今現在どうなっているのか伺う。
- 経済部長 事業者は運転の再開を見据えて、施設の維持管理をされていたが、このたび発電事業の廃止を決定され、今後は、電気事業法に定める発電事業廃止届を国に提出するため、可燃物質や薬品などの抜取り、発電施設の系統からの切離し作業を順次進められると伺っている。
- 議員 撤退でなく廃止とはどういうことか。
- 経済部長 廃止とは電気事業法上の届出で、発電施設自体はそこに残る。それがなくなった状態が撤退であろうと考える。
- 議員 米子バイオマス発電所

は、米子市が誘致し、騒音被害等をもたらし、3度の火災や爆発事故、そして廃止という事態になった。市長の所見を求める。

- 市長 米子バイオマス発電所は米子市が誘致した案件であり、誘致に当たっては、土地の取得や売渡しについても協力をした。また、地元住民の皆様にも御理解と御協力をいただきながら、最終的に稼働に至ったという経過もある。これまでの経過を踏まえると、私は会見のときには重く受け止めるという言い方をしたが、いろいろとあった中で、廃止の方針ということで、最終的にこれは事業者の判断に理解をするところである。
- 議員 もともと環境保全協定が実態を無視したものであり、そのことにより住民被害が出たことの認識があるのか伺う。
- 経済部長 工業専用地域であったため、騒音規制の基準がないことは事実である。手続的には問題はなかったと考えるが、結果として45デシベルに収まらなかった。

- 議員 今後は、しっかりと住民・市民の立場に立って市として責任を果たしていただきたい。

米子のシンボル・旧日野橋



またの しろう 議員
又野 史朗 (日本共産党米子市議団)



- 議員 旧日野橋について、市長は新聞の取材で「すぐに橋を落とす必要はなくなったのは事実」と答えているが、しばらくは存続するというのか伺う。
- 市長 PCBを除去しないとイケなくなり、その工事で20年くらい寿命が延びる。現時点では撤去する必要はなくなった。
- 議員 市長は今議会の答弁で、サイクリングやウォーキングイベントを企画していきたいと述べていたが、旧日野橋はそのような利用に適している。修繕費用が多額であることを考えれば、何もせずに20年待つのではなく、何か活用していく必要があると考えるが所見を伺う。
- 市長 車を持たない人にとつては価値が大きくなる。旧日野橋の価値はその利活用の中で考えていかなければならない。そ

して、文化財としての価値、マネタイズできるかということも考えていかなければいけない。周辺は駐車スペースがほばない。そういったことを考えることは、これからやっていくことだと思っている。

- 議員 駐車スペースは河川敷があると考ええる。6月に安来でライブをしたブラック・ボトム・プラス・バンドがチラシの写真の背景に旧日野橋を使っている。メンバーの横田誓哉さんは米子市出身で、わっしょい米子祭りの企画をしたり、米子ふるさとPR大使をしている。アンケートの利活用の意見でも音楽イベントがあったが、あと4年で100年を迎える旧日野橋の記念式典で、ブラック・ボトム・プラス・バンドの演奏をしてもらうてはどうか。
- 市長 現時点では記念式典は考えていないが、そういう形で旧日野橋を使っていたいているということで、横田さんと話す機会があれば、その辺の思いを聞いて、できることがあればお手伝いをしたい。
- 議員 ぜひとも旧日野橋の100周年を祝うような記念式典をしていただきたい。



もり た ざと し
森田 悟史 議員
(無所属)



障がい福祉サービスについて

■議員 特別支援教育を受ける児童生徒の増加に伴い、将来的な相談支援の需要は増すことが予想されるが、中・長期的な視点での対応について見解を伺う。

■市長 相談支援専門員の人材確保に向けては引き続き事業所支援を進めていく必要があるが、同時に安定的な障がい福祉サービスの提供に向けては基幹相談支援センターに支援を行う人材を育成、配置していくことが重要だと考えている。将来にわたって持続可能なサービス提供を目指して、人材確保などの体制整備に努めたい。

■議員 セルフプランの限定的な活用を含めた柔軟な制度運用について、市はどのような方針を持っているのか伺う。

■市長 障がいのある方やその御家族、そして支援者自らが計

病児保育について

画作成を行うだけではなく、サービスの利用調整も行わなければならないなど難しい点はあるが、利用者にとって支援の空白期間を避けるためにもセルフプランの運用に取り組んでいきたいと考えている。

■議員 他の自治体では予約DXなどICTを活用した利便性向上策が導入されているとの例もあるが、本市においてその必要性をどのように認識しているのか。

■こども総本部長 ICTを活用し、予約等の業務を効率化することは利用者、事業者ともにメリットが大きいと認識している。

■議員 一元管理できる仕組みは利便性と施設の業務効率化の双方に寄与すると考えるが、本市の導入検討の考えを伺う。

■市長 各施設の手続が様々であることや広域連携での実施もあるため、各施設のキャパシティを有効に利用できるように、事業者や関係市町村と調整をしながら、DXの導入を検討したいと考えている。

●ハラスメント研修会を実施しました●

5月22日、議会委員会室において、(公財)21世紀職業財団のハラスメント防止コンサルタントを客員講師として招き、市議会議員を対象としたハラスメント防止に関する研修を実施しました。



グループ討議の様子

◆令和7年12月定例会のお知らせ◆

令和7年12月定例会の日程は、よなご市議会だより第82号の発行日の関係上、掲載することができませんので、市議会ホームページをご覧ください。議会事務局にお問い合わせください。

令和7年米子市議会5月臨時会提出議案審議結果一覧表

●全会一致で議決した議案●

議案番号	件 名	議決結果
議案第48号	財産の取得について	原案可決
議案第49号	和解について	原案可決
議案第51号	教育委員会委員の任命について	原案同意

令和7年米子市議会6月定例会提出議案等審議結果一覧表

●全会一致で議決した議案●

議案番号	件 名	議決結果
議案第52号	財産の取得について	原案可決
議案第53号	専決処分について（米子市市税条例の一部を改正する条例の制定について）	原案承認
議案第54号	専決処分について（令和7年度米子市一般会計補正予算（補正第1回））	原案承認
議案第55号	専決処分について（令和7年度米子市駐車場事業特別会計補正予算（補正第1回））	原案承認
議案第56号	米子市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び米子市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第57号	米子市市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第58号	米子市企業立地促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第59号	米子市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第60号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第61号	財産の取得について	原案可決
議案第63号	令和7年度米子市駐車場事業特別会計補正予算（補正第2回）	原案可決
議案第64号	令和7年度米子市介護保険事業特別会計補正予算（補正第1回）	原案可決
議案第65号	米子市投票管理者等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第66号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第67号	財産の取得について	原案可決

●諮問●

諮問番号	件 名	議決結果
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意

●報告●

報告番号	件 名
報告第1号	令和6年度米子市繰越明許費繰越計算書について
報告第2号	令和6年度米子市水道事業会計予算繰越計算書について
報告第3号	令和6年度米子市水道事業会計継続費繰越計算書について
報告第4号	令和6年度米子市下水道事業会計予算繰越計算書について
報告第5号	法人の経営状況について
報告第6号	議会の委任による専決処分について（損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について）
報告第7号	議会の委任による専決処分について（損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について）

○：賛成 ×：反対 議：議長

賛 否 の 状 況																						
自由創政		蒼生会					よなご・未来				公明党議員団				信風				日本共産党 米子市議団		無所属	新ファミリア
戸田隆次	西野太一	稲田清	奥岩浩基	門脇一男	塚田佳充	渡辺穰爾	国頭靖	土光均	松田真哉	吉岡古都	今城雅子	津田幸一	徳田博文	矢田貝香織	安達卓是	伊藤ひろえ	大下哲治	中田利幸	錦織陽子	又野史朗	森田悟史	森谷司
○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×
×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×

●陳情の議決結果の理由等●

陳情第96号 陳情第97号 陳情第98号	<賛成意見> ①陳情者は、議論してほしい、一定の結論を出してほしいとのことで陳情を提出しているため、このグローバル化の時代に、市外からの陳情を議題に供さないというのは排外主義であり、米子市議会として後退することになる。また、市外からの陳情者が米子市議会で審議してもらうためには、紹介議員を求め請願にすればいいという意見もあるが、一般的にはハードルが高い。 ②今後、市外の陳情者から提出された陳情は配付にとどめ議論をしないとのことだが、従前提出された陳情の半分以上は市外の陳情者からのものであり、開かれた議会を標榜するのなら、議会として議論するのが重要なことである。このままでは、「井の中の蛙大海を知らず」ということわざどおりになりかねない。 <反対意見> ①陳情の取扱いについては、米子市議会基本条例を制定する当時から大変長きにわたり議論をしてきており、このたび議論を尽くした上で米子市議会としての意思決定をしたものである。その意思決定は非常に重たいものであり、改めて審議し直すことなど絶対にあってはならない。 ②陳情は全てこれまでどおり受理し、全議員に配付するものであることから、当然議員の目に触れるものであり、開かれた議会ではないとは言えない。 ③米子市議会基本条例及び米子市民自治基本条例に対する上位法である地方自治法第10条に定められた住民という考え方が米子市における市民の考え方であること。請願として提出されることを否定しないこと。陳情については、市内・市外を問わず全て受理され全議員に配付されるものであり、その内容を精査し市民のためになる案件であれば、一般質問などを通して当局に届けていくことが議員としてなすべき仕事の第一義だと思っているので、これをしっかりやっていけばいいことから賛成できない。 ④米子市民以外から提出された陳情を審査した場合、議員が全てを負託されたかのように先に意思決定をしてしまい、米子市民が置いておかれることになり、その後、その結果を米子市民に伝えるという主体と客体の逆転現象が起きることになるので生じることになる。 採決の結果、いずれも不採択となりました。
----------------------------	--

令和7年米子市議会5月臨時会・6月定例会提出議案等審議結果一覧表

●賛否が分かれた議案、請願及び陳情●

			自由創政		
			岩崎康朗	岡田啓介	田村謙介
議案等番号	件名	議決結果			
<令和7年米子市議会5月臨時会>					
議案第50号	副市長の選任について	原案同意	○	議	○
<令和7年米子市議会6月定例会>					
議案第62号	令和7年度米子市一般会計補正予算（補正第2回）	原案可決	○	議	○
請願第8号	一日も早く選択的夫婦別姓の導入をするよう政府に求める請願	不採択	×	議	×
陳情第96号	「陳情」の取り扱いの変更について（陳情）	不採択	×	議	×
陳情第97号	米子市議会における陳情書の取り扱いを変更しないことを求める陳情	不採択	×	議	×
陳情第98号	米子市議会における陳情書の取り扱いを変更しないことを求める陳情	不採択	×	議	×

●請願の議決結果の理由等●

請願第8号	<賛成意見> ①選択的夫婦別姓制度の導入については、国会で判断されるべきことであると最高裁判所の見解があり、また法務省は国民の理解のもとに進められるべきものと示している中、国会において本格的に議論が進んでいるところであるが、7割以上の国民が選択的夫婦別姓制度の導入に賛成していることや、多くの女性がキャリア、仕事への影響、公的私的な書類の名義変更による手続の負担を強いられていることなど、姓の自由選択ということを考えると早く審議を進められるべきであると考えます。 ②これは選択的夫婦別姓であるため、婚姻の際、希望する場合は夫婦別姓を選択するもので、希望しない場合はこれまで通り夫婦同姓にすればよいと考えるが、この制度に反対する人がおり、その理由としては戸籍制度や家制度、子どものことが挙げられる。しかしながら、戸籍制度は別姓になってもその役割が損なわれることはないと言務大臣が答弁しており、本当に困っている人を法律の改正でなくせるのであれば優先してすべきであると考えます。
	<反対意見> ①選択的夫婦別姓は強制的に親子別姓になってしまうところがあると捉えており、その議論は十分になされていないと考えている。また請願書に、若い世代では選択的夫婦別姓を望む声が高くなっていると記載があるが、自分の周りではそういった事実がないため少し疑問がある。 ②家族で姓が変わることに反対という家族の一体感や戸籍制度を守るべきという価値を主張する意見もあれば、家族の一体感や家族の絆などに問題などはないと選択的夫婦別姓に賛成の意見もある中で、法制化に向けてはまず、これらについてしっかり議論を尽くしていくことが肝要であると考えます。 ③現在、職場などで旧姓を使用することを認めているところもあり、実務上の不便が緩和されてきていると理解している。家族は社会の最も基本的な単位であり、やはりその一体感や連帯感を象徴する姓は家族としての絆を示す要素ではないかと理解している。姓を改めることによる不利益や時代の変化などを踏まえながら、今、国のほうでしっかりと議論されている状況であり、拙速な制度変更ではなく、今後も国全体で慎重な議論をしていくべきであり、またその議論の状況や動向を注視していきたいと考えます。 採決の結果、不採択となりました。



令和7年度 議会報告会・意見交換会 を開催しました



初めに議長から、議会のあらましについて説明させていただいた後、グループに分かれて意見交換をしました。団体や一般公募の方など71名の市民の方々に参加していただき、活発な意見が交わされる会となりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

※詳細な開催状況は、ホームページをご覧ください。

【市公式HP】



WALK

総務政策委員会
テーマ

歩いて楽しい
まちづくりについて
考えよう



VOTE

民生教育委員会
テーマ

投票率について
考えよう



PARK

都市経済委員会
テーマ

公園の利活用について
考えよう



◎委員長
吉岡 森田 中田 津田 塚田 田村
◎委員長
古都 悟史 利幸 一 佳充 謙介 史朗 浩基

広報広聴委員会

お問い合わせ先

米子市議会事務局 〒683-8686 米子市加茂町一丁目1番地

TEL:(0859)32-0302 FAX:(0859)35-6464

メール:gikai@city.yonago.lg.jp

米子市議会

検索

URL: <https://www.city.yonago.lg.jp/gikai/>

ご意見等ありましたら、電話・FAX・メール等でお寄せください。

